

親の学びあい講座

進行例・ワークシート
(幼児・小学生保護者向け)

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その1

1 テーマ名 子どもとともに学ぶ良さとは？（8つのすすめ①）

2 テーマのねらい

- ・ 大人が子どもとともに学ぶことの良さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ 親は子どもがいろいろなことに自ら取り組んでほしいと思っても、親が言うだけでは子どもは興味を持ちません。そこで、大人が子どもとともに学ぶ場面を想定しながらその良さについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例（60分）

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：大人が子どもとともに学ぶ姿勢について考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク（資料参照） 	
3分	<p>ワーク1（15分）・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、子どもとともに学ぶ場面について記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2（25分）・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 親が子どもとともに学ぶ良さについて考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す（ふせんを貼る）順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する（似たような意見の整理など） ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その1)

テーマ「子どもとともに学ぶ良さとは？」

エピソード

お父さんは息子の太郎くんにもっと本を読んでもらいたいと思っていますが、太郎くんはいつもゲームをしたりテレビを見ていたりで、なかなか本を読もうとしてくれません。

「ゲームばかりしていないでたまには本を読んでみたらどうだ」と声をかけますが、「お父さんだってパソコンばかり見て本なんか読んでないでしょ」と言い返されてしまいます。

そこでお父さんはハツとして、さっそく太郎くんを誘って一緒に図書館へ行き、それぞれ好きな本を借りました。



ワーク1 本を読むこと以外に親が子どもとともに学ぶ場面は、どんな場面がありますか。

ワーク2 親が子どもとともに学ぶことには、どのような良さがありますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その2

1 テーマ名 良くないことは「良くない」ときちんと伝えることができますか？
(8つのすすめ②)

2 テーマのねらい

- ・良くないことをしたときの子どもに対しての大人の行動を考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもが成長する中で、ルールを守れないこと、他人を傷つけてしまうこともあります。それが良くないことだと子どもに自覚させるため、その時にとる行動や態度について、親である大人が行動で示すことの大切さについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：良くないことをしたときの子どもに対しての大人の行動について考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、「私」の気持ちを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに伝えたいことを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

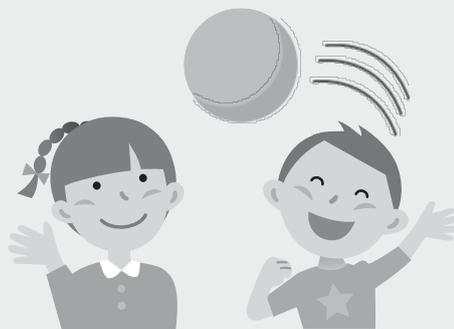
ワークシート
(その2)

テーマ「良くないことは『良くない』ときちんと伝えることができますか？」

エピソード

私の小3の息子が、公園で同級生とボールで遊んでいたところ、年下の子どもにボールをわざとぶつけました。年下の子どもは泣いて、家に帰ってしまいました。

それを見ていた私は、息子をすぐに呼び、一緒にボールをぶつけて泣かせてしまった子どもの家に行き、子どもとその両親に謝りました。



ワーク1

息子が人を泣かしている姿を見て、「私」はどう感じたでしょうか。

ワーク2

自分の子どもがルールを守れなかった時、子どもに伝えたいことは何でしょうか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その3

1 テーマ名 親子であいさつ、していますか？(8つのすすめ③)

2 テーマのねらい

- ・日常生活にありそうな場面を想定して、親子のあいさつについて考えます。

3 テーマ説明

- ・あいさつはコミュニケーションの第一歩。しつけの中でも、「あいさつをできる子に育てたい」と思う親は多いですが、なかなか身につかないとも感じています。そこで、エピソードや実際の経験をもとに、大人も子どもも気持ちのよいあいさつを交わすための工夫について考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4~6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：親子のあいさつについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、「私」の気持ちを記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらおう 	
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族と気持ちのよいあいさつを交わすために、したいことをふせんに記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その3)

テーマ「親子であいさつ、していますか？」

エピソード

朝6時半。私(小3)が起きる時間です。
お母さんは忙しそうに朝食を作っています。お父さんはもうすぐ出勤なので、慌ただしく身じたくをしています。

私は「おはよう」と元気よく言いましたが、2人も気づいていないのか、お母さんからもお父さんからもあいさつが返ってきません。



ワーク1 「私」の気持ちを考えましょう。

ワーク2 家庭で気持ちよいあいさつを交わすために、どのようにしていきたいですか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その4

1 テーマ名 子どもの話、聞いていますか？(8つのすすめ④)

2 テーマのねらい

- ・日常生活にありそうな場面を想定して、家族のふれあいについて考えます。

3 テーマ説明

- ・今の家庭は共働きが多いなど、とても忙しい家庭が多いです。家族とふれ合う時間が少ない中、子どもからふれ合いを求められた時にどう対応すれば、お互いの気持ちを理解することができるかについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループに1つずつ置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：家族のふれあいについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用 ※役をつけてロールプレイをしてもよい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、花子の気持ちを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じような状況で自分がとる行動について、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その4)

テーマ「子どもの話、聞いていますか？」

エピソード

花子(小2)のお父さん・お母さんは共働きです。
今日、お母さんはいつもより遅く仕事から帰ってきたので、夕食作りに焦っています。そこに花子がお母さんに、今日の学校でのできごとを話しかけてきました。

でも、お母さんは支度の手を休めません。それでも花子は、お母さんの服を引っ張りながら「お母さん」「お母さん」と話しかけます。お母さんはイライラのあまり、後ろにいる花子に振り向きもせず「あとで」と言いました。

花子は「もういい」と言って、ゲームを始めてしまいました。



ワーク1 花子の気持ちを考えましょう。

ワーク2 自分が花子のお母さんだったら、同じような状況で話しかけられた時、どうしますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その5

1 テーマ名 思いやりの心、育んでいますか？（8つのすすめ—⑤）

2 テーマのねらい

- ・ 思いやりの心を育むための、親の関わりについて考えます。

3 テーマ説明

- ・ 「思いやりのある子に育てほしい」と願う親は多いですが、それをどう教えるかはなかなか難しいものです。そこで、子どもたちの行動を通して、今後の親の関わりについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例（60分）

【事前準備】

- ・ 石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・ あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：思いやりの心を育むための、親の関わりについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク（資料参照） 	
3分	<p>ワーク1（15分）・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エピソードを読み、「お父さん」の考えを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す ・ 最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	
5分	<p>ワーク2（25分）・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「僕」にかけることばを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1枚のふせんに1つ記入 ・ いくつ考えてもよい ・ 話す（ふせんを貼る）順番は時計回りで、全員が発表
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する（似たような意見の整理など） <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする（10分） ・ 各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その5)

テーマ「思いやりの心、育んでいますか？」

エピソード

ある日、僕（小5）は友達と3人で少年野球から帰る途中、両手に重そうな荷物を持ったおばあさんが歩いているのを見ました。おばあさんは少し歩いては休み、また歩いては休みを繰り返していました。



僕は2人に「おばあさんの荷物、持ってあげよう」と言いましたが、2人から「もうすぐ6時だし、早く帰らないと叱られるよ」と言われ、おばあさんを追い越して家に帰りました。

僕は家に着くなり、仕事から帰ってきていたお父さんに、モヤモヤした気持ちを話しました。

ワーク1 お父さんは、「僕」の気持ちを聞いてどう思ったか考えてみましょう。

ワーク2 あなたがお父さんだったら、「僕」にどんなことばをかけますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その6

1 テーマ名 「ありがとう」を伝えていますか？(8つのすすめ⑥)

2 テーマのねらい

- ・「ありがとう」と伝えることの大切さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもが良かれと思ってとった行動が、親の思い通りにならなかった時にかかる感謝のことばの大切さについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：「ありがとう」と伝えることの大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、息子の行動に対して思ったことを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・息子にかかることばを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする(10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その6)

テーマ「『ありがとう』を伝えていますか？」

エピソード

私には小5の息子がいます。最近はなかなか早く仕事から帰れず、息子には寂しい思いをさせていると感じています。今日も19時近くまで帰れず、息子は1人でお留守番。私が帰ってくると、息子は満面の笑顔で、自分で作った料理を見せてくれました。

息子は私の代わりに夜ご飯の準備をしてくれたようでした。台所へ行くと、冷蔵庫は開けばなし、ゴミや洗い物はシンクの中に山のようになっていました。



ワーク1 息子の行動に対して、あなたはどう思いましたか。

ワーク2 あなたが「私」の立場だったら、息子にどんなことばをかけますか。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その7

1 テーマ名 寝る子は育つ？ (8つのすすめ⑦)

2 テーマのねらい

- ・早寝の習慣の大切さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・早寝早起きの生活リズムの確立が、子どもの成長に重要であることを再認識し、特に「早寝」の習慣化に向けて生活を見直すための方向性を考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例 (60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝の習慣の大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク (資料参照) 	
3分	<p>ワーク1 (15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、この後どうするかを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2 (25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ子どもの生活リズムを整えることが大切なのかを考え、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんに順番に貼り、貼られたふせんを整理する (似たような意見の整理など) <p>※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする (10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その7)

テーマ「寝る子は育つ？」

エピソード

最近、ゆきちゃん(小2)は、なかなか寝付くことができません。今夜ももう9時を過ぎようとしています。

お母さんは、毎週楽しみにしているテレビ番組があり、どうしても観たくてテレビをつけました。こうなると、ゆきちゃんも一緒になってテレビを観たくて仕方ありません。お母さんが「何時だと思っているの?早く寝なさい。明日は学校よ。」と言っても全然言うことを聞きません。



ワーク1 あなたがお母さんの立場だったら、この後どうしますか。

ワーク2 なぜ、子どもの生活リズムを整えることが大切なのでしょう。

ふりかえり テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

テーマの進行(小学生版)

(1) 進行例その8

1 テーマ名 子どもにいろいろな体験、させていますか？(8つのすすめ⑧)

2 テーマのねらい

- ・子どもにいろいろな体験をさせることの大切さについて考えます。

3 テーマ説明

- ・子どもはいろいろな体験を通してチャレンジ精神やあきらめない心を育てていきます。その姿を親が温かく見守ることの大切さについて考えます。

4 主な対象 幼児・小学生の保護者

5 テーマの進行例(60分)

【事前準備】

- ・石、A3用紙：各グループの中央に置く
- ・ふせん：参加者1人につき20枚程度
- ・あらかじめ、4～6人グループを作っておく

時間	進行	進行のポイント
10分	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらい：子どもにいろいろな体験をさせることの大切さについて考える ○学習の約束を確認する(P4) 参加、尊重、守秘 ○アイスブレイク(資料参照) 	
3分	<p>ワーク1(15分)・石を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エピソードを読み、イキイキしている姿を見てどう思うかを記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は中心に置いてある石を持って書いたことを話し、終わったら中心へ戻す
12分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したことについて、グループ内で発表してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の発表順は時計回り、2回目以降は自由
5分	<p>ワーク2(25分)・ふせん、A3用紙を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの夢を応援するための親の関わりについて、ふせんに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・1枚のふせんに1つ記入 ・いくつ考えてもよい
20分	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したふせんを順番に貼り、貼られたふせんを整理する(似たような意見の整理など) ※グループによって進行状況が違うので、全体を見回りながら声かけをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す(ふせんを貼る)順番は時計回りで、全員が発表
4分	<ul style="list-style-type: none"> ○ふりかえりをする(10分) ・各自で気づいたことをふりかえりシートに記入してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の気づきを大切にするため、書く時間を保障する
6分	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で発表してもらい共有する 	

ワークシート
(その8)

テーマ「子どもにいろんな体験、させていますか？」

エピソード

アキさんは小学5年生。アキさんの通う小学校では、6月のお祭りのために4月から鼓笛隊の練習が始まります。友達のサヤカさんに誘われたのでやってみたいと思いますが、お母さんに相談すると、「本当に続けられるの？お母さんは仕事があるから、送り迎えは無理よ。」と言われました。「必ず続けるからやらせて。帰りはサヤカと一緒に大丈夫。」とアキさんが言うと、お母さんは「じゃあ、いいわよ。」と言いました。



練習を始めてから1か月後、「宿題を忘れる日が続いている」と学校から連絡があり、心配したお母さんは練習を見に行きました。練習中のアキさんは、指導の先生たちの話を良く聞き、合間には年下の子どもたちの面倒もみていて、とてもイキイキとしていました。

ワーク1

お母さんは、アキさんのイキイキしている姿を見て、どう思ったでしょうか。

ワーク2

あなたの子どもの夢や興味を持っていることを応援するために、親としてどう関わっていこうと思いますか。

ふりかえり

テーマを通して、どんなことに気づきましたか。

